



自民党派閥裏金問題 幕引き許すな

政界をゆるがした自民党派閥のパーティー券売り上げ不記載・裏金問題は自民党も「派閥解消」を言わざるを得ないところまで追い込みました。しかしまたしても「政策集団」ならいいだろうなどと温存する動きになっています。30年以上前に自民党自身が改革の約束をしたはずであり、企業・団体献金を基本的に禁止し、その代わりに税金から国民一人当たり250円の政党助成金を受け取ることにしたのでした。ところが公金を受け取る一方で、パーティー券を販売するという「二重取り」を続けてきました。そのうえ裏金を作っていた。今回は、あかはその報道をきっかけに大問題となり、逮捕者も相次ぎました。自民党の中からもその中心の安倍派への批判が強まり、「自民党も終わりだ」（亀井静香氏）などのぼやきも報じられています。

◆しかし国民の疑惑をいっぱい残したまま検察は幕引きをはかっています。◇パー券による収入未報告は10億円以上だが全容不明 ◇責任は例によって「秘書」に転嫁され安倍派5人衆など派閥TOPの議員本人は不問 ◇限度額を超えた分は課税されるはずで、脱税なら課徴金、延滞金などはどうなるのか ◇検察は3500万円を超える件のみ立件しようとしている。なぜか。 ◇ウラガネは何に使ったのか。

東京地検の捜査、立件がこれで幕引きとなるなら、国民は絶対に納得しない。当然検察審査会による新たな捜査、起訴が行われるはずです。監視を強めましょう。

「沖縄スパイ戦史」DVD上映会

日時：2月23日（金）13：30～17：00

場所：南流山センター 講義室

参加費： 無料

沖縄戦での知られていないゲリラ戦やスパイ戦、スパイを疑い虐殺された人々、少年ゲリラ兵、戦争マラリア……、沖縄戦で陸軍が「ウチナンチュウ（沖縄人）」をどう扱ったのか。皇軍の最も深い闇。明かされた陸軍中野学校の「秘密戦」とは？

三上智恵監督の渾身の沖縄シリーズ 第4作



沖縄・うるま市のゴルフ場跡 陸自訓練場計画に 地元反対……ここにも自衛隊基地

防衛省が沖縄県うるま市石川のゴルフ場跡地に陸上自衛隊の訓練場を新たに造る計画について、跡地を抱える地元の旭



区自治会（石川修区長）は14日、同区公民館で臨時総会を開き、建設計画に反対する決議を全会一致で採択した。区民ら114人が参加し、建設反対の声が相次いだ。同自治会が総会で反対決議をしたのは初めて。

防衛省は2024年度予算案に、同市石川の東山カントリークラブ跡地一帯の用地を取得する経費を計上した。24年度に約20ヘクタールを取得し、25年度に調査・設計、26年度に着工する。訓練場として整備後、自衛隊ヘリの離着陸や地対艦・地対空ミサイル部隊の発射機展開、空包射撃などの訓練実施を想定している。

ゴルフ場跡地周辺には、住宅地や県立石川青少年の家などが隣接する。同区は3日、臨時評議委員会を開き、全会一致で建設反対を確認。さらに区民の意思を確認しようと、臨時総会の開催を決めた。

臨時総会では、区民から「訓練によって生活環境が破壊される」「国から説明がない」などと批判が続出。建設反対の意見が相次ぎ、異論は出なかった。

区民らは、計画の撤回に向けた取り組みを進める方針を確認。今後、沖縄防衛局や同市、県に決議文を手交する他、沖縄防衛局に対しては早期の住民説明会の開催を要請する。

石川区長（70）は「地域住民に事前の説明がなく、計画が進められていることが非常に残念。旭区だけでなく近隣自治会にも協力を依頼し、反対の意思を訴えていきたい」と語った。

同市の中村正人市長は、建設計画について「計画の詳細が不明のため、コメントは差し控える」としている。

（沖縄タイムス 1月15日）

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山